



橿原市スポーツ施設計画（案）
パブリックコメント実施結果



令和4年3月
橿原市

スポーツの実施状況、施設の利用状況、安全性、機能性、経済性、耐震性などを基にスポーツ施設のあり方や配置、有効活用について検討を行い、スポーツ施設の安全性・持続性を確保するための檀原市スポーツ施設計画を策定するにあたり、本計画案について市民等から直接に意見及び提言を求め、それに対する本市の考え方等を公表するとともに、意思決定に反映させる機会を確保するためにパブリックコメントを実施しました。

1 公開した資料

[檀原市スポーツ施設計画（案）](#)

[檀原市スポーツ施設計画（案）の概要版](#)

[検討資料編1 対象施設基本情報](#)

[検討資料編2 対象施設の方向性・基本方針・適用手法一覧表](#)

[検討資料編3 檀原市スポーツ施設のあり方に関するアンケート調査結果報告書（市民アンケート）](#)

[検討資料編4 檀原市スポーツ施設の利用に関するアンケート調査結果報告書（利用者アンケート）](#)

2 意見の募集期間

令和4年1月5日（水）正午 から 令和4年1月31日（月）まで

（郵便・FAX・電子メール・Webフォームの場合においても、締切日到着分までの受付）

3 閲覧場所

- ・ 本庁舎本館1階ロビー
- ・ 本庁舎北館1階ロビー
- ・ 分庁舎1階ロビー
- ・ かしはら万葉ホール1階ロビー
- ・ 保健福祉センター北館1階ロビー
- ・ 檀原運動公園事務所棟
- ・ 中央体育館受付前
- ・ 香久山体育館ロビー
- ・ 万葉の丘スポーツ広場事務所
- ・ 曾我川緑地体育館ロビー
- ・ ひがしたけだドームロビー
- ・ シルクの杜ロビー
- ・ 市ホームページ

4 意見を提出できる方

- ・ 市内に在住、在勤、在学する方
- ・ 市内に事務所または事業所を有する個人及び法人その他の団体
- ・ 市税の納税義務者
- ・ パブリックコメント手続きに係る事案に利害関係を有する個人及び法人その他の団体

5 意見提出方法

・ 直接持参 ・ 郵送 ・ F A X ・ 電子メール ・ WEBフォーム

橿原市スポーツ施設計画（案）

パブリックコメント結果概要

1 意見提出者数

19名

2 意見提出方法

・ 直接持参 1名 ・ 郵送 1名 ・ F A X 1名 ・ 電子メール 5名 ・ WEBフォーム 11名

橿原市スポーツ施設計画（案）

パブリックコメント意見内容と回答

1 表の見方

記載内容は、以下の項目を設けて整理しています。

項目	説明
提出者NO	提出者数19名の提出順通し番号
意見分類（対象施設）	いただいた意見の対象施設
意見内容	いただいた意見内容
市の考え	いただいた意見に対する本市の考え
該当ページ	橿原市スポーツ施設計画（案）における「市の考え」該当ページ

2 意見内容と回答の一覧

提出者 NO	意見分類 (対象施設)	意見内容 (意見内容については、原文のまま掲載しています。)	市の考え	該当 ページ
1	<ul style="list-style-type: none"> ・曾我川緑地体育館 トレーニングルーム ・市スポーツ施設全般 	<p>曾我川緑地体育館をよく利用します。トレーニングルームの会員です。その上で、いくつかの意見を書きます。まず、体育館のトイレが、和式です。洋式も便座が温まらないタイプのもので、冬は冷たくて困ります。今どき、公共の施設で和式はないでしょう。次に、更衣室のシャワーの水量が少ないです。故障かと思う程です。善処して下さい。トレーニングルームには、マスク着用の張り紙がありますが、鼻を出してトレーニングしている人が散見されます。コロナ拡大の観点から職員さんにも数回お願いしましたが、まだ100%ではありません。クラスター発生の可能性があります。善処をお願いします。トレーニングルームの機器が、劣化しています。使えない程ではありませんが、市の施設である以上、予算の増額が必要です。予算がないのは理解出来ませんが、それをやりくりするのが行政の腕の見せ所です。訳の分からない市民が宿泊しないホテルを建てて市民へのサービスを低下させ、肝心の施設の管理を後回しにするような事はやめていただきたいです。住み良い街作りは、ほんの小さなパズルのピースを埋めて行くところがスタートではないでしょうか。また、大和八木と言う、大阪、京都、名古屋の三大都市からのアクセスが良い駅を持ちながら、なんら有効に活用出来ていないのは残念です。特急を降りて徒歩数分で行けるスタジアムがあれば、また、そのスタジアムにプロチームのフランチャイズが絡めば、大きな税収も見込めるのでは無いでしょうか。広島市民球場をモデルに、何か出来ないでしょうか。ドームなら、コンサート収益も期待できます。何か大きな手を仕掛けても良いと思います。そうすると、ホテルも回るようになると思います。今のままだと、橿原市は限界集落に陥ります。八木駅周辺に活気がある今のうちに、奈良県のスポーツの中心となるべく新たなチャレンジをして欲しいです。</p>	<p>トレーニングルームについては、現状の利用者数、利用料収入の推移や民間施設数の推移などの状況から、方向性は「集約化検討」としてしています。なお、集約化検討にあたっては民間施設との棲み分け、将来ニーズの動向などを十分に踏まえ、今後の方向性を定めていきます。こうした検討を進めながら計画的に、設備・機器の更新・改善に取り組んでいきます。</p> <p>また、令和13年の国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の開催を絶好の機会ととらえ、中南和のみならず、奈良県のスポーツの中心地となるべく、スポーツ振興、地域活性化、地域振興等に取り組んでいきます。</p>	P20 P38 P53

提出者 NO	意見分類 (対象施設)	意見内容 (意見内容については、原文のまま掲載しています。)	市の考え	該当 ページ
2	・ 榎原運動公園 総合プール	<p>いつもお世話になっております。</p> <p>一市民として、僭越ながらご意見を述べさせていただきます。</p> <p>総合プールが廃止になるかも…と伺いました。現在の市財政だとかなり厳しい状況だという事ですが、何とか存続させられないでしょうか？管理体制が変わったとしても存続して頂きたいです。コロナ禍で子供達のみならず市民の生活はかなり制限されていますが、未来への希望の光としてプールも存続させられないでしょうか？</p>	<p>榎原市総合プールは供用開始から40年以上が経過し、老朽化の進展による維持管理費の増大が見込まれ、将来にわたる安全性や機能性を確保するためには、大規模更新や改修が不可欠な状況にあります。また、近年では、余暇の多様化、少子高齢化の進展、猛暑の影響など利用者数が減少しています。</p> <p>こうした状況のなか、施設を存続させるための方策についても、慎重に検討を重ねてきましたが、限られた財源の下、施設を健全に運営し続けることは極めて困難であると判断した結果、「廃止」としています。</p> <p>一方、アンケート調査やパブリックコメントにおいても、プールに対する需要を確認できることから、老朽化している学校プールの集約検討や、近隣公共施設、民間プール施設との連携など、代替機能の確保について検討を重ねていきたいと考えています。</p>	P16 P34 P46

提出者 NO	意見分類 (対象施設)	意見内容 (意見内容については、原文のまま掲載しています。)	市の考え	該当 ページ
3	・市スポーツ施設全般	<p>橿原市はこれからの施設の維持管理を長年していけるのですか？お荷物にはならないのでしょうか？</p> <p>それに対するシミュレーションは、できているのでしょうか？</p>	<p>運動・スポーツは、市民が生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を営む上で不可欠なもので、日常的に運動・スポーツを続けるためには、気軽に運動・スポーツに親しめる場所の確保が欠かせません。</p> <p>スポーツ施設計画は、本市におけるスポーツ環境の持続的な提供、スポーツを活かしたまちづくりのために、どのような施設がどの程度必要になるのか、スポーツの実施状況、スポーツ施設の利用状況、安全性、機能性、経済性等を基にスポーツ施設のあり方や配置、有効活用について30年の計画期間でシミュレーションを行い、スポーツ施設の安全性・持続性を確保するための方向性を示すものです。</p> <p>今後は本計画に基づく整備、保全等の実施により、スポーツ施設における効果的・効率的な行政サービスを将来にわたって継続的に提供していきます。</p>	P46～ P64

提出者 NO	意見分類 (対象施設)	意見内容 (意見内容については、原文のまま掲載しています。)	市の考え	該当 ページ
4	・ 榿原運動公園 全般	<p>現在の榿原運動公園では大規模な国体等のスポーツ大会が開催できないだけでなく、陸上競技場など不足している施設もございます。またアクセスも悪く、市民が気軽に立ち寄れるような場所ではありません。国体のメイン会場、陸上競技が榿原市で開催できるチャンスであったのに、県立榿原公苑との交換を、議会と市長の対立のみで白紙にするのは市民利益を著しく損なっております。榿原公苑は榿原市中心部に近く、アクセスも良い立地ですので、市民の普段使いには格好の場所です。また大規模スポーツ大会が開催できる施設群を整備するには広範な敷地が必要です。今一度、榿原市が国体のメイン会場、陸上競技の会場となるよう県との協議をお願いします。加えて、今回の計画においては都市公園としての運動公園に係る記述がないように思います。スポーツ施設計画ですので、あえて入れておられないのかもしれませんが、ただストックとしてのスポーツ施設を評価するのではなく、集客施設としての運動公園、具体的にはPark-PFI等を活用したカフェや交流施設の設置についても、ぜひご検討ください。発達段階の子どもたちが安全に柔らかい路面で運動ができるよう、スポーツ施設周辺の芝生広場化やウッドチップなど柔らかい素材でのランニングコース設置についても、よろしくお願いします。</p>	<p>榿原運動公園と県立榿原公苑の一体整備については、奈良県と協議、検討を重ねてきましたが、残念ながら実現には至りませんでした。</p> <p>令和13年の国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会を契機としたスポーツ振興、地域振興を目指し、市内での各種競技の誘致、大会開催に向け県と協議を進めます。</p> <p>榿原運動公園は都市公園法に基づく総合公園であり、休息・運動等のレクリエーション空間となるほか、快適で自然ある都市環境の形成や緑地の確保、都市の防災性の向上など、多様かつ重要な役割・機能をはたしています。</p> <p>こうした公園の趣旨を十分に踏まえ、様々な検討をしながら、子どもから大人までより多くの人が集い、憩い、楽しめる魅力あふれる公園を目指していきます。</p>	P46～ P49

提出者 NO	意見分類 (対象施設)	意見内容 (意見内容については、原文のまま掲載しています。)	市の考え	該当 ページ
5	・市スポーツ施設全般	施設利用者特に子育て世代、高齢者などの安心安全の確保 公共施設（公園、体育館、公民館など）でのセキュリティーの強化・WIFI環境の整備・監視カメラの設置・外灯設置（LED化も含む）・施設扉開閉、トイレ扉開閉にオートロック採用（時間、リモート、暗証番号、履歴）・死角をなくす（植栽の剪定方法など）WIFI環境の整備をする事で安心安全の確保を向上させ、利用者、受付など効率化、サービス向上につながる 安心安全、サービス向上により施設への誘客、リピーターが増える	利用者のニーズを正確に把握し、費用対効果などのバランスを考慮しながら、利用者の安心・安全を第一に、サービスの向上につながる設備・機器の導入や改善・改修に努めます。	P57～ P 64

提出者 NO	意見分類 (対象施設)	意見内容 (意見内容については、原文のまま掲載しています。)	市の考え	該当 ページ
6	・ 榎原運動公園 総合プール	<p>榎原市に生まれ育って、現在も榎原市に住み、子育てをしている年代の者です。榎原運動公園総合プールに関して 榎原市スポーツ施設計画（案）を読ませていただきました。P.16にも安全性や機能性・経済性の評価が“劣”とのことで、改廃の対象と表記がありました。安全性や機能性に関しては、利用の際に最優先すべき事ですので、しっかりと修繕なり指定管理をしてもらえたらと思います。ただ、経済性の部分に関しては、申し訳ありませんがもう少し利用の工夫や促進をはかってほしいと感じます。ずっと水泳を楽しんで過ごしてきて、今でも家族で健康のためにプールを利用したいと思うことがあります。ですが、その時にも榎原の総合プールの利用をしたいと思って自分なりに探してみても、あまり利用できる良い方法が見つかりません。榎原市に住み税金を納めながら、隣の大和高田市にあるコミュニティプールを毎週利用している現状です。屋外と屋内でまた環境も違うとは思いますがシーズンであっても市民が健康推進のために利用しようと感じることができないのは、少し残念な気持ちです。幼い頃から利用していた榎原のプールに思い入れがあることだけでなく、実際に利用したいと思っている市民はいると思います。これまでも市民の健康推進のため色々企画してもらって、現在はコロナ禍も重なって大変かと思いますが、ぜひ市民が利用しやすい環境を提供してもらえたら幸いです。お忙しいとは思いますが、ご検討よろしく申し上げます。</p>	<p>榎原市総合プールは供用開始から40年以上が経過し、老朽化の進展による維持管理費の増大が見込まれ、将来にわたる安全性や機能性を確保するためには、大規模更新や改修が不可欠な状況にあります。また、近年では、余暇の多様化、少子高齢化の進展、猛暑の影響など利用者数が減少しています。</p> <p>こうした状況のなか、施設を存続させるための方策についても、慎重に検討を重ねてきましたが、限られた財源の下、施設を健全に運営し続けることは極めて困難であると判断した結果、「廃止」としています。</p> <p>一方、アンケート調査やパブリックコメントにおいても、プールに対する需要を確認できることから、老朽化している学校プールの集約検討や、近隣公共施設、民間プール施設との連携など、代替機能の確保について検討を重ねていきたいと考えています。</p>	P16 P34 P46

提出者 NO	意見分類 (対象施設)	意見内容 (意見内容については、原文のまま掲載しています。)	市の考え	該当 ページ
7	・曾我川緑地体育館 トレーニングルーム	<p>曾我川緑地体育館のトレーニングルームは残すべきと思います。筋肉トレーニングは、高齢者のフレイルを防ぐためにも非常に重要であることが明らかになっています。</p> <p>フレイルとは、わかりやすく言えば「加齢により心身が老い衰えた状態」のことです。高齢化社会において、筋肉トレーニング、有酸素運動マシンなどによる運動は、介護状態の防止とも関係して、ますます重要性が高いと思われます。</p>	<p>トレーニングルームについては、現状の利用者数、利用料収入の推移や民間施設数の推移などの状況から、方向性は「集約化検討」としています。</p> <p>なお、ご意見の内容のとおり、トレーニングルームが高齢者のフレイルを防ぐことを含め、市民の健康増進と体力維持向上に寄与する施設であることを十分念頭に置いたうえで、集約化検討にあたっては民間施設との棲み分け、将来ニーズの動向などを十分に踏まえ、今後の方向性を定めていきます。</p>	P21 P38 P53

提出者 NO	意見分類 (対象施設)	意見内容 (意見内容については、原文のまま掲載しています。)	市の考え	該当 ページ
8	・ 榎原運動公園 全般	<p>「対象施設の方向性・基本方針・適用手法一覧」P2 「榎原運動公園」について</p> <p>昔子どもが小さいころには、芝生広場や遊具で遊ばせるために、晴れた週末にはよく家族で運動公園にでかけていました。最近、サッカー場が大きく新設され、芝生広場がなくなってしまいました。また、新しいサッカー場は高いネットで囲われており、公園の景観もおおしく変わりました。起伏があって、自然を感じることができた小道は、自然な感じの道から無骨なアスファルトに変えられてしまいました。何気に小さな子どもがのぼるのが好きだった、大きな石も端の方にまとめて移されてしまいました。なにより、自然に近い環境で安心して小さな子供を遊ばせられる広い芝生広場がなくなってしまいました。散歩やジョギングで周回するコースは、新設のサッカー場の周囲を通るので、以前よりも自然を感じることができなくなりました。このように感じる方は多いのではないかと思います。スポーツ施設の充実は大変喜ばしいことですが、小さな子どもを安心して遊ばせられる場所を減らしてしまってもよいのでしょうか。新設されたサッカー場は、料金を払って、大人から子どもまで様々なサッカーチームが利用すると思いますが、サッカー少年も無料で気軽に子供とボールで遊べる芝生広場のような場所からみなボールをけり始めるのではないかと思います。昔の芝生広場やその周辺のような自然を感じられるある程度広いスペースを運動公園のどこかに設けてほしいと強く希望します。</p>	<p>ご意見の内容のとおり、身近な場所で自然環境に近い広場等を使った子どもの遊び場については、子どもの健全な心身の発育のため重要な空間であると考えます。</p> <p>榎原運動公園は都市公園法に基づく総合公園であり、休息・運動等のレクリエーション空間となるほか、快適で自然ある都市環境の形成や緑地の確保、都市の防災性の向上など、多様かつ重要な役割・機能をはたしています。</p> <p>こうした公園の趣旨を十分に踏まえ、様々な検討をしながら、子どもから大人までより多くの人が集い、憩い、楽しめる魅力あふれる公園を目指していきます。</p>	P46～ P49

提出者 NO	意見分類 (対象施設)	意見内容 (意見内容については、原文のまま掲載しています。)	市の考え	該当 ページ
9	・香久山体育館 トレーニング ルーム	<p>香久山体育館を利用させて頂いています。</p> <p>経済性が”劣”になっている事に関し、運営が非効率的な点が種々見受けられ、現状の運営では納得行く評価かと想像されましよう。</p> <p>恐らく指定管理下にて民間企業に運営を丸投げされているのかと想像しますが、人員配置が非効率的、機器使用需要に対応していない（常に稼働していない機器がそのままになっている反面、高稼働機器が不足の傾向有り）。利用者に対するマナー指導が殆どなされていない（不愉快に感じる事が偶に有る）。</p> <p>例：ダンベルの投下、大声のかけ声での機器使用、機器を占有して若しくはスマホを持ち込んでの複数利用者の雑談、等。設備の安全性、機能性が”良”となっており結構な事ですが、Maintenance面で見直す所が有る様に思います。現場で対応されている方々は、十分満足行く対応をされている事から判断し、上記は運営方針を策定される部門で見直し等吟味願えれば如何かと存じます。利用者が比較的高年層が多いかと思えます。高年齢層は間違いなく近い将来退会する筈にて、中長期的視野に立ち30-60歳代の利用者獲得を目指しての積極的募集活動が必要かと存じます。周りの同年齢層に聞いても市運営の設備の存在すら認知されていないのが現状でしょう。民間設備を利用した事も有りますが、上記の殆どが異なる所かと存じます。</p> <p>上記気づくままに記載しました。</p>	<p>香久山体育館を含む体育館及び檀原運動公園については、指定管理による運営を行っています。いただいた意見について、指定管理者と共有・協議し、より良い運営・管理に努めます。</p> <p>トレーニングルームについては、現状の利用者数、利用料収入の推移や民間施設数の推移などの状況から、方向性は「集約化検討」としています。なお、集約化検討にあたっては民間施設との棲み分け、将来ニーズの動向などを十分に踏まえ、今後の方向性を定めていきます。</p>	P19 P36 P50

提出者 NO	意見分類 (対象施設)	意見内容 (意見内容については、原文のまま掲載しています。)	市の考え	該当 ページ
10	・市スポーツ施設全般	<p>今回の課題には若干異なると存じますが、この機会に関連意見として私見を記入致します。ご一読賜われますれば幸甚です。</p> <p>最初に橿原運動公園と橿原公苑との交換が実現しなかった事は甚だ遺憾であります。市の厳しい財政状況を鑑みる時、将来的に当該施設を維持・管理・運営を続けることが出来るのか疑問であります。</p> <p>スポーツ施設は市民の体力向上・健康維持そして快適な日常生活を営むうえで必要不可欠なものでありますが、現状では赤字を出さない運営が前提と考えます。</p> <p>橿原市が健康長寿日本一をめざし、住みよい街・災害のない街づくりを実現し、数少ない人口増加の街づくりを願いたいものです。その第一歩は抜本改革による財政再建と存じます。</p> <p>その第一投階として、市民ウォーキング運動1日8000歩を提案します。現在県において実施されている健康ステーション（近鉄百貨店2階）を拡大するものであります。</p> <p>次に各施設についてですが、先ず全ての施設の駐車場を有料化すべきです。1回200円程度、手間とコストのかからない管理・運営方法の検討要</p> <p>橿原運動公園 総合プール廃止 跡地はゴルフ練習場検討 中央体育館・香久山体育館 廃止 売却又は賃貸を検討 万葉の丘スポーツ広場 弓道場・パターゴルフ場の採算が悪い様ですが、維持管理に多額の経費もかからないと思慮、管理棟もあることから転用より残す方がベターと考えます。</p> <p>(駐車場有料化が前提)</p>	<p>橿原運動公園と県立橿原公苑の一体整備については、奈良県と協議、検討を重ねてきましたが、残念ながら実現には至りませんでした。</p> <p>令和13年の国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会を契機としたスポーツ振興、地域振興を目指し市内での各種競技の誘致、大会開催に向け県と協議を進めます。</p> <p>スポーツ施設計画は、本市におけるスポーツ環境の持続的な提供、スポーツを活かしたまちづくりのために、どのような施設がどの程度必要になるのか、スポーツの実施状況、スポーツ施設の利用状況、安全性、機能性、経済性等を基にスポーツ施設のあり方や配置、有効活用について30年の計画期間でシミュレーションを行い、スポーツ施設の安全性・持続性を確保するための方向性を示すものです。</p> <p>今後は本計画に基づく整備、保全等の実施により、スポーツ施設における効果的・効率的な行政サービスを将来にわたって継続的に提供していきます。</p> <p>なお、市民の健康長寿については、関係部署と連携をはかりスポーツ振興・健康増進に努めます。</p>	P46～ P64

提出者 NO	意見分類 (対象施設)	意見内容 (意見内容については、原文のまま掲載しています。)	市の考え	該当 ページ
11	・ 榎原運動公園 総合プール	水泳連盟に所属しております。市営プールの存続が難しいのは重々承知しておりますが、現在奈良県において大会などを実施できるプールは一つになってしまい、出場できる機会も激減しております。子どもたちにおいても市民体県民体の実施自体が危ぶまれております。ぜひとも榎原市に大会を開くことができるプールを作っていただきますようお願い申し上げます。	<p>榎原市総合プールは供用開始から40年以上が経過し、老朽化の進展による維持管理費の増大が見込まれ、将来にわたる安全性や機能性を確保するためには、大規模更新や改修が不可欠な状況にあります。また、近年では、余暇の多様化、少子高齢化の進展、猛暑の影響など利用者数が減少しています。</p> <p>こうした状況のなか、施設を存続させるための方策についても、慎重に検討を重ねてきましたが、限られた財源の下、施設を健全に運営し続けることは極めて困難であると判断した結果、「廃止」としています。</p> <p>一方、アンケート調査やパブリックコメントにおいても、プールに対する需要を確認できることから、老朽化している学校プールの集約検討や、近隣公共施設、民間プール施設との連携など、代替機能の確保について検討を重ねていきたいと考えています。</p>	P16 P34 P46

提出者 NO	意見分類 (対象施設)	意見内容 (意見内容については、原文のまま掲載しています。)	市の考え	該当 ページ
12	・ 橿原運動公園 全般	<p>総合運動公園は今でも十分に整備されている。拡張して設備を増強すればそれだけ維持費もかさむことになり、際限なく設備を充実させていくことを考えるべきではない。もしくは施設設備を希望する受益者が建設費から維持費までを負担することを前提とする必要がある。その意味では、企業や団体からの寄附やスポンサー、パブリックドメインなどを募る努力を行ってほしい。国体の会場誘致を前提とした県立公苑との交換や一体整備も、先の東京五輪のレガシーと同じように赤字施設の拡大再生産になる恐れがあったため行われなくて良かった。国体についても橿原市はあくまでも身の丈にあった対応をすべきで、奈良県とは距離を取って良いし、持続可能な範囲での再整備、施設の維持程度に止めれば良い。市のスポーツ人口を最大限に見積もるのではなく、各施設の受益者がどれだけいるかを精査し、優先順位をつけて整備を行ってほしい。総合プールのように多くの市民が利用することができた施設を無くして、それぞれの競技に限定される施設を作る意義はあまり大きくない。声の大きい人の希望ばかりが通る市にはならないことを望む。</p>	<p>橿原運動公園と県立橿原公苑の一体整備については、奈良県と協議、検討を重ねてきましたが、残念ながら実現には至りませんでした。</p> <p>令和13年の国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会を契機としたスポーツ振興、地域振興を目指し市内での各種競技の誘致、大会開催に向け県と協議を進めます。</p> <p>運動・スポーツは、市民が生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を営む上で不可欠なもので、日常的に運動・スポーツを続けるためには、気軽に運動・スポーツに親しめる場所の確保が欠かせません。</p> <p>スポーツ施設計画は、本市におけるスポーツ環境の持続的な提供、スポーツを活かしたまちづくりのために、どのような施設がどの程度必要になるのか、スポーツの実施状況、スポーツ施設の利用状況、安全性、機能性、経済性等を基にスポーツ施設のあり方や配置、有効活用について30年の計画期間でシミュレーションを行い、スポーツ施設の安全性・持続性を確保するための方向性を示すものです。</p> <p>今後は本計画に基づく整備、保全等の実施により、スポーツ施設における効果的・効率的な行政サービスを将来にわたって継続的に提供していきます。</p>	P46～ P64

提出者 NO	意見分類 (対象施設)	意見内容 (意見内容については、原文のまま掲載しています。)	市の考え	該当 ページ
13	<ul style="list-style-type: none"> ・ 榎原運動公園 全般 ・ 榎原運動公園 総合プール 	<p>① 榎原運動公園の現状維持について</p> <p>2031年の国民スポーツ大会(国体)が奈良県で開催されることが内々定しています。この国体開催のため、3年ほど前から、榎原運動公園と県の榎原公苑の交換話が県と市の間で進められ、2021年11月22日の市議会特別委員会でこの交換案は否決されました。</p> <p>そもそも、市民の財産である170億円をつぎ込んだ榎原運動公園と県の榎原公苑の面積比は3対1であり、市への10億円の補助金上乗せでは等価交換には値しないものです。また、「市民の運動施設やレクリエーション、憩いの場として」ならばと地元住民が先祖伝来の農地を掘出したものであり、やすやすと交換されるべきではありません。</p> <p>榎原運動公園は年間20万人が利用し、災害時には、避難場所、ヘリポート、仮設住宅建設用地などの活用を予定している防災拠点です。</p> <p>この榎原運動公園は、これからも「市民の運動施設やレクリエーション、憩いの場として」、また、榎原市の防災拠点として、活用されるべきです。</p> <p>聞くとところによると、県は国体のために、榎原運動公園に総事業費400億円以上もの巨費を投じようとしていました。国体の会場は主会場も含めて、既設の施設・設備を活用して、簡素に、経済的になるよう心がけ、県・市町村の無駄な財政出動を極力、避けるべきです。</p>	<p>①榎原運動公園と県立榎原公苑の一体整備については、国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会だけでなく、今後の市内スポーツ環境の向上や既存の老朽化した施設の再整備にかかる財政負担の軽減等、多くのメリットがあると考え、奈良県と協議、検討を重ねてきましたが、残念ながら実現には至りませんでした。</p> <p>令和13年の国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会を契機としたスポーツ振興、地域振興を目指し市内での各種競技の誘致、大会開催に向け県と協議を進めます。</p> <p>榎原運動公園は都市公園法に基づく総合公園であり、休息・運動等のレクリエーション空間となるほか、快適で自然ある都市環境の形成や緑地の確保、都市の防災性の向上など、多様かつ重要な役割・機能をはたしています。</p> <p>こうした公園の趣旨を十分に踏まえ、様々な検討をしながら、子どもから大人までより多くの人が集い、憩い、楽しめる魅力あふれる公園を目指していきます。</p>	P46～ P49

提出者 NO	意見分類 (対象施設)	意見内容 (意見内容については、原文のまま掲載しています。)	市の考え	該当 ページ
13	・ 檀原運動公園 全般 ・ 檀原運動公園 総合プール	<p>② 檀原市のスポーツ施設の維持について</p> <p>・ 檀原運動公園総合プール</p> <p>レジャープール、競技用プールは、老朽化もあって廃止の方向とされています。奈良県下では、檀原市近隣の総合プールとしては、近鉄平端駅近くのファミリー公園プールぐらいのものです。新たな総合プールの再建は、県民・檀原市民に注目されます。檀原運動公園総合プールは、入場料は高かったですが、かつては、親子の人気の遊び場でした。せっかくの総合プールの場所があるので、市民の需要が高ければ、総合プールを改装して、新たなレジャーの拠点として、オープンしてもよいと思います。魅力ある檀原市の新たな観光地の1つに、できるかもしれません。</p> <p>しかし、大人一人の入場料が1,000円を越すような入場料は高すぎます。</p>	<p>②檀原市総合プールは供用開始から40年以上が経過し、老朽化の進展による維持管理費の増大が見込まれ、将来にわたる安全性や機能性を確保するためには、大規模更新や改修が不可欠な状況にあります。また、近年では、余暇の多様化、少子高齢化の進展、猛暑の影響など利用者数が減少しています。</p> <p>こうした状況のなか、施設を存続させるための方策についても、慎重に検討を重ねてきましたが、限られた財源の下、施設を健全に運営し続けることは極めて困難であると判断した結果、「廃止」としています。</p> <p>一方、アンケート調査やパブリックコメントにおいても、プールに対する需要を確認できることから、老朽化している学校プールの集約検討や、近隣公共施設、民間プール施設との連携など、代替機能の確保について検討を重ねていきたいと考えています。</p> <p>なお、仮に総合プールの大規模更新や改修を行い、維持管理を続けるとした場合、入場料負担についても、大幅な増加が必要となることが見込まれます。</p>	P16 P34 P46

提出者 NO	意見分類 (対象施設)	意見内容 (意見内容については、原文のまま掲載しています。)	市の考え	該当 ページ
14	<ul style="list-style-type: none"> ・ 榎原運動公園 全般 ・ 榎原運動公園 総合プール 	<p>総合プールをなくすのであれば、それに代わるものを新築してほしい。海のない県だからこそ、泳げる場所を作ってほしい。</p>	<p>榎原市総合プールは供用開始から40年以上が経過し、老朽化の進展による維持管理費の増大が見込まれ、将来にわたる安全性や機能性を確保するためには、大規模更新や改修が不可欠な状況にあります。また、近年では、余暇の多様化、少子高齢化の進展、猛暑の影響など利用者数が減少しています。</p> <p>こうした状況のなか、施設を存続させるための方策についても、慎重に検討を重ねてきましたが、限られた財源の下、施設を健全に運営し続けることは極めて困難であると判断した結果、「廃止」としています。</p> <p>一方、アンケート調査やパブリックコメントにおいても、プールに対する需要を確認できることから、老朽化している学校プールの集約検討や、近隣公共施設、民間プール施設との連携など、代替機能の確保について検討を重ねていきたいと考えています。</p>	<p>P16 P34 P46</p>

提出者 NO	意見分類 (対象施設)	意見内容 (意見内容については、原文のまま掲載しています。)	市の考え	該当 ページ
15	・市スポーツ施設全般	<p>各施設の現状を詳細にお知らせいただきよく分かりました。 これだけ沢山のスポーツに関する施設が有ることを知りませんでした。 今後も市民の憩いの場として活用出来る事を望みます。 劣化した施設の改善にどれだけの費用が掛かるのか気掛かりです。 これらの施設は市民の大切な財産です。決して無くさないで下さい。</p>	<p>運動・スポーツは、市民が生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を営む上で不可欠なもので、日常的に運動・スポーツを続けるためには、気軽に運動・スポーツに親しめる場所の確保が欠かせません。</p> <p>スポーツ施設計画は、本市におけるスポーツ環境の持続的な提供、スポーツを活かしたまちづくりのために、どのような施設がどの程度必要になるのか、スポーツの実施状況、スポーツ施設の利用状況、安全性、機能性、経済性等を基にスポーツ施設のあり方や配置、有効活用について30年の計画期間でシミュレーションを行い、スポーツ施設の安全性・持続性を確保するための方向性を示すものです。</p> <p>今後は本計画に基づく整備、保全等の実施により、スポーツ施設における効果的・効率的な行政サービスを将来にわたって継続的に提供していきます。</p>	P46～ P64

提出者 NO	意見分類 (対象施設)	意見内容 (意見内容については、原文のまま掲載しています。)	市の考え	該当 ページ
16	・ 榎原運動公園 全般	<p>約45年にわたり、市民の税金を170億円もつぎ込んだ榎原運動公園を県の施設である榎原公苑と交換することに反対です。</p> <p>交換案は市議会の特別委員会において否決されており亀田市長も荒井知事も断念を表明されています。</p> <p>市民プールは親子連れで楽しむレクリエーションの場に、テニスコートやソフトボール場は軽スポーツに、軟式野球場は市中学総合体育大会野球大会等に、広場や水場やバラ園は市民の憩いの場にと、それぞれ将来的にも大いに利用価値のあるものです。</p> <p>榎原運動公園の用地を提供された地元雲梯町や東坊城町の人達は目的外に運用されることに大きな疑問と承服できない気持をお持ちです。</p>	<p>榎原運動公園と県立榎原公苑の一体整備については、国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会だけでなく、今後の市内スポーツ環境の向上や既存の老朽化した施設の再整備にかかる財政負担の軽減等、多くのメリットがあると考え、奈良県と協議、検討を重ねてきましたが、残念ながら実現には至りませんでした。</p> <p>令和13年の国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会を契機としたスポーツ振興、地域振興を目指し市内での各種競技の誘致、大会開催に向け県と協議を進めます。</p> <p>榎原運動公園は都市公園法に基づく総合公園であり、休息・運動等のレクリエーション空間となるほか、快適で自然ある都市環境の形成や緑地の確保、都市の防災性の向上など、多様かつ重要な役割・機能をはたしています。</p> <p>こうした公園の趣旨を十分に踏まえ、様々な検討をしながら、子どもから大人までより多くの人が集い、憩い、楽しめる魅力あふれる公園を目指していきます。</p>	P46～ P49

提出者 NO	意見分類 (対象施設)	意見内容 (意見内容については、原文のまま掲載しています。)	市の考え	該当 ページ
17	<ul style="list-style-type: none"> ・ 檀原運動公園 テニスコート ・ 檀原市万葉の 丘スポーツ広場 テニスコート 	<p>檀原ソフトテニスクラブに所属しており、運動公園と万葉の丘テニスコートをよく利用させて頂いてます。10年後の国体会場問題では、奈良県からの提案が市議会で否決されて良かったです。檀原市民のメリットはなく、犠牲になる可能性が大と考えていました。スポーツ施設計画の概要版しか読んでおりませんので、ご了承をお願いします。①テニス施設は、コートの改修や張替えを最優先にして下さい。数年前に、酷いコート状態であるのに予算がないとの理由で、数年放置され怪我人も出たことがありました。クラブハウス新設や改修に予算が取られ、コートのメンテナンスが後回しになり利用者の満足度や安全が低下すれば、本末転倒となってしまいます。民営のテニスクラブでもないし、市民なら近場なので、クラブハウスやシャワーも最低限で良いと考えています②せめて利用者の多い檀原檀原運動公園の施設利用状況や予約をWEBで可能にして欲しい。</p>	<p>檀原運動公園と県立檀原公苑の一体整備については、国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会だけでなく、今後の市内スポーツ環境の向上や老朽化した施設の再整備にかかる財政負担の軽減等、多くのメリットがあると考え、奈良県と協議、検討を重ねてきましたが、残念ながら実現には至りませんでした。</p> <p>令和13年の国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会を契機としたスポーツ振興、地域振興を目指し市内での各種競技の誘致、大会開催に向け県と協議を進めます。</p> <p>①利用者の安全・安心を第一としたうえで、より快適に施設利用いただけるよう運営・維持管理に努めます。</p> <p>②施設の利用状況確認・予約等のデジタル化も含め、利便性の向上に取り組みます。</p>	P46～ P 64

提出者 NO	意見分類 (対象施設)	意見内容 (意見内容については、原文のまま掲載しています。)	市の考え	該当 ページ
18	<ul style="list-style-type: none"> ・ 榿原運動公園全般 ・ 榿原運動公園総合プール 	<p>県立榿原公苑と榿原市運動公園全面交換案が断念された事を非常に残念に思います。P46慎重に検討を重ねた結果廃止とありますが、交換案が再度検討される事はないのでしょうか？ P34利用者減少とありますが、少子化で減少は仕方無いですが、コロナ収束後子供達は再開を願っているのではないのでしょうか？たださえ学校体育授業制限されたり、体力低下が心配されます。存続の為のクラウドファンディング案は既に検討されたと思いますがいかがでしょうか？</p>	<p>榿原運動公園と県立榿原公苑の一体整備については、奈良県と協議、検討を重ねてきましたが、残念ながら実現には至りませんでした。</p> <p>令和13年の国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会を契機としたスポーツ振興、地域振興を目指し市内での各種競技の誘致、大会開催に向け県と協議を進めます。</p> <p>榿原市総合プールは供用開始から40年以上が経過し、老朽化の進展による維持管理費の増大が見込まれ、将来にわたる安全性や機能性を確保するためには、大規模更新や改修が不可欠な状況にあります。また、近年では、余暇の多様化、少子高齢化の進展、猛暑の影響など利用者数が減少しています。</p> <p>こうした状況のなか、施設を存続させるための方策についても、慎重に検討を重ねてきましたが、限られた財源の下、施設を健全に運営し続けることは極めて困難であると判断した結果、「廃止」としています。</p> <p>一方、アンケート調査やパブリックコメントにおいても、プールに対する需要を確認できることから、老朽化している学校プールの集約検討や、近隣公共施設、民間プール施設との連携など、代替機能の確保について検討を重ねていきたいと考えています。</p>	<p>P16 P34 P46</p>

提出者 NO	意見分類 (対象施設)	意見内容 (意見内容については、原文のまま掲載しています。)	市の考え	該当 ページ
19	・ 檜原運動公園 総合プール	<p>総合プールについて。檜原市水泳連盟は、水泳を通じて、市民活動に関わってきました。一体整備が頓挫し檜原市から活動出来るプールが無くなる事が確定的になりました。水泳連盟は解散せざるを得ない状況です。プールで入ることは、水泳競技ではありません。水泳や水中歩行を通じて、市民の健康増進に寄与できる定性的・定量的効果があると考えてます。床昇降式の屋内プール(希望は50m×25m)の建設が実現すれば、年間を通して小学校の水泳授業(水の事故から命を守る授業)、生活習慣病の改善プログラム(医大とのコラボ)、腰痛・膝痛などの整形外科疾患の改善プログラム(医大とのコラボ)などを通じて、市民の健康寿命を伸ばす取り組みも可能です。また、競泳以外の水泳競技(水球・アーティスティックスイミング・飛び込み)など、県内で行われてない競技をすることで、プールの利用価値も上がります。このようなことから、今年計画通りにいけば廃止となる総合プールの代替施設の建設を早期に望みます。</p>	<p>檜原運動公園と県立檜原公園の一体整備については、奈良県と協議、検討を重ねてきましたが、残念ながら実現には至りませんでした。</p> <p>檜原市総合プールは供用開始から40年以上が経過し、老朽化の進展による維持管理費の増大が見込まれ、将来にわたる安全性や機能性を確保するためには、大規模更新や改修が不可欠な状況にあります。また、近年では、余暇の多様化、少子高齢化の進展、猛暑の影響など利用者数が減少しています。</p> <p>こうした状況のなか、施設を存続させるための方策についても、慎重に検討を重ねてきましたが、限られた財源の下、施設を健全に運営し続けることは極めて困難であると判断した結果、「廃止」としています。</p> <p>なお、ご意見にあるプール施設規模は市単独での建設・維持管理は非常に困難ですが、老朽化している学校プールの集約検討や、近隣公共施設、民間プール施設との連携など、代替機能の確保について検討を重ねていきたいと考えています。</p>	P16 P34 P46